

平成29年度 基本事業評価シート（平成28年度実績評価）

政策 02 健やかに暮らせるまち
施策 06 社会保障の健全運営
基本事業 05 セーフティネットによる自立支援
主管課： 社会福祉課
関係課： 建設課

1 基本事業の目的

対象（誰、何を対象としているか） 低所得者	意図（どのような状態にしたいのか） 生活保護や公営住宅等のセーフティネットにより、低所得者の生活支援と自立を促進する。
--------------------------	--

2 基本事業の成果状況（意図の達成度を図る成果指標とその動向）

生活保護率		(%)	社会福祉課		
基準値 (H26)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標値 (H33)
0.39	0.35	0.37	0.39	0.42	0.48
向上指針	その他	(状況) 前年度より0.02ポイント悪化していますが、基準値よりは0.02ポイント下回っています。また、向上指標の考え方については、全国的に増加傾向にある保護率の抑制に努める取組とします。 (原因) 保護率は0.37%と県内の福祉事務所でも二番目に低い保護率となっています。また、生活保護世帯数及び保護人員は、前年度と比べ、5世帯10人の増となっています。			
対前年度	低下				
目標達成度	達成				
次年度課題	課題とする				

生活保護からの自立世帯数（年間）		(世帯)	社会福祉課		
基準値 (H26)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標値 (H33)
5.00	3.00	3.00	2.00	3.00	5.00
向上指針	上がると良い	(状況) 前年度と比較して生活保護からの自立世帯が3世帯のままで横ばいです。 (原因) 近年、高齢者世帯からの保護申請が増加し、保護世帯全体の48.6%（H29.3.31現在）が高齢者世帯で、自立することが困難な状況です。そのため、就労の阻害要因のない保護者に対しては、24年度から継続して就労指導員による積極的な就労支援を行っています。			
対前年度	横ばい				
目標達成度	低				
次年度課題	課題とする				

市営住宅の施設維持管理上の不具合件数（年間）		(件)	建設課		
基準値 (H26)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標値 (H33)
14.00	17.00	8.00	7.00	6.00	5.00
向上指針	下がると良い	(状況) 平成28年度の不具合件数は8件で、前年度から9件減少しています。 (原因) 老朽化に伴う不具合箇所が多い浴室廻りについて、市営住宅長寿命化計画に基づき、平成27年度から浴室改修工事を進めている結果と考えられます。			
対前年度	向上				
目標達成度	中				
次年度課題	課題としない				

基準値 (H26)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標値 (H33)
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
向上指針					
対前年度					
目標達成度					
次年度課題					

基準値（H26）	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標値（H33）
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
向上指針					
対前年度					
目標達成度					
次年度課題					

3 基本事業に係るコスト（単位：千円）

	H26年度 決 算	H27年度 決 算	H28年度 決 算	H29年度 予 算	H30年度 見 込
事業費合計	427,271	428,039	444,489	455,656	455,480
人件費	0	0	35,145	0	0
トータルコスト	427,271	428,039	479,634	455,656	455,480

4 基本事業の推進状況と課題

前年度の取組内容、成果及び次年度以降に向けた課題

生活保護対策については、今年度以降も、就労支援事業を強化し、生活保護者の自立促進を図ります。なお、生活扶助費については、今後も高齢化等による生活保護者の増加に伴い増加が見込まれます。	推進状況	一部停滞あり
	次年度への課題	課題あり
	成果方向性	維持
	コスト方向性	増加

5 基本事業を構成する事務事業の評価

[illegible]